

議会報告「市民との意見交換会」実施報告書

開催日時	平成 27 年 2 月 18 日(水) 19 時 00 分 ～ 20 時 40 分
開催場所	健康福祉会館
出席議員	<ul style="list-style-type: none"> ・班 長 三宅利弘 ・副班長 土本昌幸 ・司会 衣笠利則 ・報告者 長田謙一 別府 直 深田真史 ・記録者 高橋佐代子 ・議 長 森元清蔵
参加市民数	17 人
実施内容報告	<p>1 部 議会報告</p> <p>市民：12月議会の説明は、何を言っているのか全く理解できない。もう少しわかりやすく説明してほしい。</p> <p>市民：せっかくの場であるからわかりやすく説明してほしい。</p> <p>班長：気を付けて説明します。</p> <p>市民：議案 77 号の職員給与について、市独自の引き下げと人事院勧告による増減について整理して説明してほしい。</p> <p>班長：職員給与を決める人事院勧告という制度がある。それに基づいて実施された。特別職は、0.15 ヶ月の期末手当の引き上げが行われ、職員は、若手を中心に平成 26 年 4 月から 0.3%の引き上げが行われた。しかし平成 27 年度から引き下げが盛り込まれている。</p> <p>市民：市独自の引き下げをどういう立場にあるのか。</p> <p>議長：市職員の効果額を施策に使ったことがあったが、今回は人事院勧告に基づくもの。しかし、4 月以降は下がることになる。</p> <p>市民：市長は、職員の士気を上げて、成果を出すまで給与カットを続けると言っていたが。</p> <p>司会：議案 77 号は、人勤に基づいたもの。</p> <p>市民：職員給与が、ここに至るまでの経緯を聞きたい。分からないなら執行者に聞く。</p> <p>班長：調べて報告する。</p>
	<p>2 部 意見交換</p> <p>市民：人口 5 万人のスローガンで市長は当選をした。しかし人口は、減っている。なぜ人口が減っているのか議員も考えただろう。若者は大阪、神戸に行っている。原因は、働くところがない。産業団地で加西市の人が働いているのか、そのことを考えているか。小野市は、仕事もあり、水も安く、税金が安い。加西市がいいと思っている若い人が一体何人いるのか、10 年後 20 年後の加西市の人口は、いくらなのか、調べて報告してほしい。民間企業で働く人の中には、明日の仕事もあるかどうかかわからない人が多くいる。議員は、大きな責任を負っている。加西市では、働く所が無いのに住めるわけがない。隣の小野市は、どんどん良くなっている。小野市の市長は、市内にお金が落ちるようにしている。玉丘古墳のスベリ台にどれくらいの人が行っているのか。収入につながるような事業をしてほしい。県は、危ないから遊具を減らしている。税金を使うばかりの事業を、市議会で精査してほしい。</p> <p>市民：パナソニックが市内に立地した、古い議員がパナの工場ができたなら従業員の 7 割は市民から雇用されると言っていた。しかし実際は、2 割から 3 割程度であ</p>

る。言っていたことと全然違う。市が玉丘古墳公園に設置した 3600 万円の遊具は、職員の給与をカットしてやったといっているが本当か。このようなことも市議会も知ってほしい。

市民：今の市政は、補助金を出して税金を使っているだけ。市議会議員は、何のために出ているのか、市議の報酬を 10 万から 15 万にするべきではないか。報酬削減ができていない。私は市議の報酬を下げるといってきた。北条高校に寄付する金があるのであれば報酬を下げるべきではないか

班長：厳しいご意見として承っておきます。

議長：議員の報酬を減らしたら市政がよくなるとは私は思っていない。意見に対しては、批判だけではなく、謙虚に学びたいと考えている。小野市の事例は、検証すべき処は、検証。ふるさと創造会議は、みんなで考えるまちづくり。地域に住んでいる住民もアイデアを出して考えることが大切。いろいろな意見に耳を貸したい。

市民：三洋電機がなくなった、小規模でも経済効果を生み出す産業が必要。小野市では世界に誇る織物を作っている、そういったものを作らないと加西市は、沈んでしまう。

班長：企業誘致についても意見を言ってきた。新産業団地についても検討してもらっている。

市民：頑張ってもらいたい、お願いします。

議長：鶉野のトマト工場は、20 億円の投資、雇用については 2~3 時間のパート職員を多く雇用する予定、今秋には出荷が始まる予定です。

市民：愛菜館には、午後になるとトマトは売れてしまって商品はない、なぜトマト工場生産されたトマトを加西市内で販売してくれないのか。

班長：トマト工場は、大量のトマト生産を行う市内の農業生産者の保護も必要である。

市民：愛菜館の品薄から考えても市内の農業者を脅かさない、需要はダブらないと思うが。

市民：議会市民意見交換会の参加者の人数が少ないのが残念。私は、縁あって 30 年前に伊丹市から加西市にやってきた。現在の古坂 2 丁目は、空き家が増えてきている。多くは死去、施設入所が原因である。本来なら子供が家を継ぐべきであるが市に魅力がないのか、仕事がないのかと考えると、やはり仕事のないと思う。そこでいくつか聞きたい。①増える空き家について、②自身の終りの棲家となる墓地について、市営公園墓地について、③子供の減少問題、子供は宝といいつつも子供会はかわいそうな状況である。結婚適齢期の人に住んでもらう町、学校統廃合の問題、加西に住んでよかったと思えるように、④日本全国で人口が増えている町に視察に行っていたならその状況を教えてほしい。

班長：①空き家について、公共に使用する場合は補助対象に。新規就農者向けにも空き家活用制度がある。②公園墓地は、平成 25 年度末で空きは 20 区画あります。料金は後から報告します。③子供の減少については、子育て支援が最も重要。よりよい保育をすることが大切。市議会からも意見をだし平均 5,230 円の軽減を引き出した。④人口減少について、給食費の無料化で相生市が人口増となった、相生市に勉強に行きたい。市の財政状況から予算を使った支援は少しずつしかできない財政面の制約もあるが行政に対して指摘を続けていく。

	<p>市民：北条高校は、廃校になるのか。</p> <p>班長：ならない。</p> <p>市民：子供が減っているのに小学校は、11校もいない、教育の質が悪くならないと子供は増えないのではないか。</p> <p>市民：加西市内の幼稚園はいくつあるのか。職員には、市から給与が出ている支給額は多額に上っているのではないか。</p> <p>班長：公立は11、私立は4、間違っていたら訂正したい（保育施設であれば公立10、私立6 幼稚園であれば、公立8、私立4）。先生はほとんどがアルバイトとパート。職員は少ない。保護者からすれば、質の高い保育を求めるだろうが。</p> <p>市民：市外出身のものであるが、1年前に加西に来た。雇用があったらよいというよりも、教育がよくないとだめだと思う。現在1歳の子がいる、妻に聞くと、加西市の人は郷土愛が希薄であるとのこと。ソウルフードは何かと聞いても答えは、帰ってこない。1300年の風土記のことも聞く、歴史のある街だと思う、探せばきっとなにかがある。</p> <p>班長：幼保は統合化し、コンパクトだが充実させていく。市への郷土愛は、無い人もあるかもしれない、しかし私はある。市の伝統文化を守っていきたい。</p> <p>市民：なぜ閉会中の建設経済厚生委員会を開かなかったのか。</p> <p>私自身、他市で暮らそうと考えている。補助金を自治会に交付し、町同士を競わせながら活性化を考えられないか、市全体で10億もあれば出来る。人口増政策課の件費に3000万以上要っている。これまで、どんな成果が出たのか。産業団地の話は、検討の状況はどうか、4社の大きな企業を尋ね聞き取りをした、加西市で募集しても人は集まらないということだった。市議は頭で考えるだけで行動がない。トマト工場も雇用者を正社員にしないではいけない。又、経済効果は、どれくらい出るのか。</p> <p>建設経済厚生委員長：閉会中の委員会の未開催の理由は、執行者から1月、障害者福祉計画、介護保険計画、子ども子育て支援事業計画について2日間にわたりそれぞれ2時間の勉強会を持ったこと及び衛生センターについても勉強会を開催した。人口増対策については、議会市民意見交換会を経て、市民の意見を聞いた後、執行者と議論し提案しようと考えているためである。</p> <p>班長：地域の活性化を言っておられたと思う。ふるさと創造会議については、地域ががんばっている所に補助金等支援が届く。人口増プロジェクトチームの意見については、議会としては、そこに提言をしていく立場、又、出てきた成果について意見を述べていく。産業団地についての現地については、模索中と報告を受けている。</p> <p>議長：トマト工場の雇用については、できるだけ正職員を雇用してほしい、パートについても多くの雇用を期待している。</p>
<p>要望・提言</p>	<p>市民：市民意見交換会での市議の対応が、中途半端、解答数値も曖昧。市議一人一人が勉強してほしい。</p> <p>人口増対策について、現市長は5万人を掲げ、小学校は11校存続、幼保は一体化しつつも、小学校で分離し、中学校で再度統合という状況、国は、小中一貫の方向が出ている。市議の判断は、間違っていたのではないのか。途中からでも現状に合わせて柔軟に対応すべき。</p>

	<p>行政視察について、議会の答弁に生きていない。知りえた知識を市民に還元すべき。遠方への視察理由は、</p> <p>質問した数値に答えられていない。市民との意見交換会を、別の機会で開催してほしい。市議と市職員を交えて。</p> <p>班長：11校存続については、宇仁地区の方々の熱意があった、地域の活性化にも役立っている。行政視察については委員会で年1~2回、会派でも1~2回である。報告は、しっかり行っている。遠方への視察については、ネット等でも探しながら、最も適切な地域を選定し、初日は少なくとも1か所、2日目は2か所ときちんと予定を組みながら実施している。視察の還元については、本会議の場においてしっかりと取り上げている。市民意見交換会で質問のあった数値等の返答については、勉強不足が歪めないが、情報が多く全部については不可能である。しかしわからないことは、後で調べ上お知らせする。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成27年 3月 9日

加西市議会議長 森元 清蔵 様

第A班 班長 三宅利弘 印